

ジュラシック・トーク

ベーレンライター vs. ブライトコプフ

末廣さんが、最初の指揮者練習で「田園」のリハーサルを始めた時に、今回使うことになったベーレンライター版について熱く語られていましたね。同時に、やはり同じ「原典版」であるブライトコプフ新版については、手厳しく非難されていました。その件について、実物にあたりながら見ていきたいと思います。

まずは、前号の「かいほうげん」に掲載した曲全体とそれぞれの楽章に付けられたタイトルについてです。1998年に出版されたベーレンライター版ではしっかりベートーヴェンが書いた通りのタイトルが採用されていますが、それより後、2001年に出版されたブライトコプフ新版では、そのような新しい情報が反映されておらず、1826年にスコアが出版された時に出版社によって改竄されたタイトルがそのまま使われているのです。実は、このブライトコプフ新版の「田園」を校訂したペーター・ハウシルトという人は、ベーレンライター版が出版されるはるか前（1974年ごろ）に東ドイツのペータースによって刊行された「原典版」でも、「田園」の校訂に携わっていました。その後、東西ドイツが統合されたため、ペータース版は絶版となりますが、ハウシルトはブライトコプフでの原典版の校訂も手掛けることになり、その際にかつてのペータース版とほぼ同じものが、ブライトコプフ新版として刊行されたのです。ペータース版が作られた頃はまだこのタイトルについての知見はありませんでしたから、当然のことながら、それは昔のままになっていたわけですね。ちなみに、ごく最近2013年に刊行されたヘンレ版でも、ベーレンライター版と同じ表記になっています。

	ベーレンライター版	ブライトコプフ新版
サブタイトル	PASTORAL-SINFONIE oder Erinnerung an das Landleben(mehr Ausdruck der Empfindung als Malerei)	なし
第1楽章	Angenehme, heitere Empfindungen, welche bei der Ankunft auf dem Lande im Menschen erwachen	Erwachen heitere Empfindungen bei der Ankunft auf dem Lande
第4楽章	Donner. Sturm	Gewitter. Sturm
第5楽章	Hirtengesang. Wohltätige, mit Dank an die Gottheit verbundene Gefühle nach dem Sturm	Hirtengesang. Froh und dankbare Gefühle nach dem Sturm

※第2、第3楽章のタイトルは、どちらも同じです。

そして、別の交響曲のケースになるのですが、「交響曲第9番」では、ブライトコプフ新版には末廣さんをして「ベートーヴェンは絶対にこんなことはしないはず」と言わしめた個所が挙げられていました。この曲の校訂も、やはりペーター・ハウシルトが行っています。それは、第4楽章の330小節目、合唱が「vor Gott!」とフェルマータで伸ばしている間のオーケストラのダイナミクスに関する指示です。この時もハウシルトは、ペータース版と同じことをこのブライトコプフ新版でも行っています。つまり、以前のブライトコプフ旧版ではティンパニのパートだけにディミヌエンドが付けられていたのですが、それをオーケストラの全パートに適用させていたのです。その結果、この部分は合唱が **ff** で音を伸ばしている間に、オーケストラがだんだん音を小さくしていくということになり、最後は合唱だけが残ったア・カペラの状態となります。確かに、ベートーヴェンはこんな軟弱なことはやらなかったかもしれませんね。

それに対して、ベーレンライター版では、そもそもブライトコプフ旧版でのティンパニのディミヌエンドも疑問わしいところがあったので、それをなくし、合唱を含めて全パートが **ff** で伸ばし続けるようになっています。その2つの楽譜が右ページにあります。そして、それぞれの音源はQRコードから聴くことができます。

Fl. I II *molto ten.*

Ob. I II *p*

Cl. I II (A) II *p*

Fg. I II *p*

Cfg. *p*

Cor. I II (D) II *molto ten.* *p*

Cor. III (Basso) IV *ff* *p*

Tr. I II (D) II *molto ten.* *p*

Timp. (d, A) *p*

S. solo

A. solo

T. solo

Bar. solo

S. *ff*
vor Gott.

A. *ff*
vor Gott.

T. *ff*
vor Gott.

B. *ff*
vor Gott.

VI. I *molto ten.* *p*

VI. II *p*

Va. *p*

Vc., Cb. *p*



←ブライトコフ新版
(ペータース版)



ベーレンライター版→



ff

ff

ff

ff

ff

ff
molto tenuto

ff

vor Gott.
ff

vor Gott.
ff

vor Gott.
ff

vor Gott.
ff

vor Gott.
ff
molto tenuto

molto tenuto

tenuto

tenuto

さらに、末廣さんは特に言及はされていませんでしたが、「田園」についてはブライトコプフ新版ではさらにベーレンライター版とは明らかに異なっている箇所があります。それは、第2楽章の84小節目です。ベーレンライター版では「E♭（実音）」の音が、ブライトコプフ新版では「E ナチュラル」になっていますね（クラリネット、ホルン、ヴィオラの赤丸部分）。

これは、ベーレンライター版の校訂を行ったジョナサン・デル・マー自身は校訂報告の中で「どちらなのかわかりしない」と言っていますが、結果的には従来通りの「♭」を取っています。しかし、ハウシルトは果敢に「ナチュラル」を取り入れました。それによって、この小節の和声が大幅に変わってしまいます。従来は「G/G/Cm/Cm7」だったものが、ハウシルトの楽譜では「G/G/C/C7」というコード進行に変わります。ちなみに、ヘンレ版でも、ここはベーレンライター版と同じ「E♭」になっています。

0 秒

10 秒

13 秒



これも、音源を用意しました。左の QR コードがこの楽譜と同じブライトコプフ新版、右がベーレンライター版です。聴き分けのポイントは、84小節目と85小節目の間でホルンとクラリネットの音がE→E♭と変わるか（ブライトコプフ新版）、E→Eと変わらないか（ベーレンライター版）という違いです。

※このトークでは、2017年2月に発行された「かいほうげん」Nr249に掲載されたトークから、多くの引用を行っています。